

科目名	社会理論と社会システム（社会福祉士必修）					
授業形態	講義	学年	1			
開講時期	2022年度 後期	単位数	2			
担当教員	高橋 嘉代					
内容および計画	<p>この授業では、身分制が存在しておらず、如何に生きるかについての選択肢が相対的に豊富で生き方を自らの意志と判断とで選ぶことが可能であり、同じルールのもとで総ての国民が（ルールを決めた者も含めて）同様に・同等に扱われるという近現代の社会の仕組みのもとで、我々が日々経験しているさまざまな社会現象について一つひとつ解きほぐしてゆく。</p> <p>この授業は、第1週のガイダンスの後は「自己と他者（3回）」「わたしたちの住む世界（5回）」「現代社会に注目して（6回）」3つの大テーマの元で構成される。</p> <p>ガイダンスでは、授業の進め方・成績評価の方法等、履修に当たっての簡単な説明をおこなうと共に、身分制がなくなり、法の下での平等の仕組みができ上がり、生産活動と消費活動の場と空間と関係する人々とがそれぞれ別個に成り立つようになった「近代化」が世界にもたらしたインパクトについて概説する。</p> <p>続く3代テーマについては、はじめに「自己と他者」のテーマのもと、社会学の歴史の中で「自分が自分であるということ」がどのように把握されてきたかについて論じる。次に「わたしたちの住む世界」のテーマにおいて、家族や地域社会、私たちが何らかの形で不断に関わりを持っている集団・組織等について、社会学ではどのように考えているのかについて説明する。続くテーマ「現代社会に注目して」においては、これまで取り上げたテーマの内容を踏まえつつ、より up to date な社会現象について、社会学が理解を試みようとしてきたことについて考えてゆきたい。</p>					
1	ガイダンス・近代社会と社会学					
2	自己と他者（1）「自我」はどこからやってくる					
3	自己と他者（2）「らしさ」と役割					
4	自己と他者（3）行為・コミュニケーション					
5	わたしたちの住む世界（1）現代社会と家族					
6	わたしたちの住む世界（2）地域社会					
7	わたしたちの住む世界（3）集団と組織					
8	わたしたちの住む世界（4）人口と社会					
9	わたしたちの住む世界（5）社会が「変動」するとき					
10	現代社会に注目して（1）：「生活」と社会					
11	現代社会に注目して（2）：ジェンダーと社会					
12	現代社会に注目して（3）：労働と社会					
13	現代社会に注目して（4）：医療・福祉と社会					
14	現代社会に注目して（5）：社会関係資本と社会的連帯					
15	現代社会に注目して（6）：社会問題の捉え方					
教科書						
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年	
使用しない（教員作成の資料を用いる）						
参考書	とくになし。教員作成の資料を用いる。					
成績評価						
	評価方法				割合(%)	
	試験（授業時の配布資料に限り持ち込み可）				100	


期末試験は、「選択式」「語句の解説」「論述」という形式を予定している。「選択式」は授業中解説した概念や論者等について記述された文章の空欄部分に該当する。

語句を選択して補充、「語句の解説」は授業中解説した概念等の簡単な解説、「論述」は授業で課した課題に基づくトピックを中心とした論述問題を出題する予定である（配布資料および自筆ノートに限り持ち込み可）。

<b>学習到達目標</b>	社会学の基礎知識を学ぶことを通して、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者理解・自己理解の方法の選択肢を増やしてゆくことを目標とする。</li> <li>・自分で考え、表現する力を身につけることを目標とする。</li> <li>・現代社会についての幅広い視角を身につけることを目標とする。</li> </ul>
<b>先修条件</b>	なし
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	授業で学んだことをヒントとして、様々な切り口から物事を考え、自分の言葉で表現する力を身につけて欲しい。